

クルージング(乗船実習)の開講

「文部科学省・日中韓等の大学間交流を通じた高度専門職業人育成事業」で本学に留学した大学院生を対象として、平成24年12月13日から2日間、クルージング(セミナー)を開催しました。このクルージングは、「環境・エネルギー実務実習」の一環として本学練習船にて実際に船上生活を経験することで、船や海に関する理解を深めることを目的としています。今回は、第2期生(2012年4月入学)と第3期生(2012年10月入学)を対象に開講し、13名の留學生が参加しました。

船内では、海や船に関する様々な実習が行われました。神鷹丸のブリッジや実験・観測設備の見学、本学教員による講義、甲板でのラジオ体操など、どの実習も留學生にとっては初めての経験となりました。

下船式の後、解散となりました。林船長はじめ神鷹丸乗組員の皆様、今回もありがとうございました。



神鷹丸ブリッジ見学



酒井久治准教授の講義



ラジオ体操



林船長(前列中央)と参加者